

いわての浜料理選手権 釜石地区大会

10月30日 [岩手大学釜石サテライト・水産加工実験室]

上閉伊地区漁協女性部交流会が開催され、「いわての浜料理選手権 釜石地区大会」が行われました。出場したのは釜石湾漁協の釜石女性部、平田女性部、白浜浦女性部および釜石東部漁協女性部の4チーム。ワカメをはじめ県産水産物を主な材料にして、岩手の魅力を伝える新しい浜料理のメニューをそれぞれ考案し、見た目や味、テーマ性などから審査され、最優秀賞には釜石湾漁協平田女性部の「ホタテのいどり御膳」が選ばれました。平田女性部のみなさんは来年1月30日に宮古の「シートピアなあと」で開催される県大会に出場します。



料理の腕をふるう女性部のみなさん



ホタテのいどり御膳



勇ましい片岸虎舞

釜石うみやま郷土芸能大競演祭

11月2日 [鶴住居小学校・釜石東中学校]

地域の連携・交流の促進、老若男女が集うにぎわいの場づくりを目指して、「釜石うみやま郷土芸能大競演祭」が開催されました。この大競演祭には、鶴住居川流域と箱崎半島の郷土芸能13団体が参加しました。震災で存続も危ぶまれた釜石の伝統芸能を絶やすまいと、虎舞や鹿踊、神楽に情熱と誇りと地域への思いが体現され、会場から惜しみない拍手が送られました。

第44回釜石市民芸術文化祭

11月1~3日 [シープラザ遊・シープラザ釜石]

「復旧の足音は直ぐ近くに！活かそう芸術の力を復興支援に！」をスローガンとして第44回釜石市民芸術文化祭が開催されました。演舞や演奏などの発表部門では8団体、絵画や工芸作品などの展示部門では19団体が参加し、日ごろの活動の成果を表現しました。鑑賞者たちは、思いのこもったさまざまな作品を楽しみ、心豊かな時間を過ごしました。



思いのこもった作品が多数展示されました



発表部門の凛々しい舞

T ま o ち p の i 話 c 題 S

釜石まつり

10月17・18・19日 [市内]



今年も秋の風物詩・釜石まつりが盛大に開催されました。曳き船まつりでは、12隻の船が参加し、鮮やかな大漁旗をはためかせ海上を渡御しました。また、翌日行われた市内の渡御では、シープラザ遊から東前バス駐車場の特設会場まで、行列がまちに賑わいをもたらしました。大町の「おまつり広場」では、神楽や虎舞、鹿踊、釜石芸能連合会などが観客を魅了しました。

市ホームページの「かまいし徒然日記」に写真をたくさん掲載しています。Check it!

大勢の観客の前をバレードする曳き船



東前太神楽の七福神の舞



市内を渡御する二基の御神輿の行列

第5回かまいし仙人峠マラソン大会

10月26日 [大橋、仙人峠]

色づき始めた紅葉の中、釜石を代表する行事の一つ・仙人峠マラソン大会が今年も開催されました。峠コース(約17.2km)に出場したランナーたちは、標高差約400m・平均斜度約5%の起伏に富んだ難コースに挑みました。ゲストランナーでスターターを務めたエリック・ワイナイナさん(ケニア出身マラソンランナー)は最後に走り始めたものの次々とランナーたちを抜き去って完走し、オリンピックメダリストの圧巻の走りを見せました。



厳しい上り坂に挑むランナーたち